

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公表番号】特表2009-529000(P2009-529000A)

【公表日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-556519(P2008-556519)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/26 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/14 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 15/08 (2006.01)

A 6 1 P 5/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 5/28 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/26 Z N A

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 1/14

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 15/08

A 6 1 P 5/24

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 5/28

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 9/00

C 0 7 K 16/46

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号4で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号5で示されるアミノ酸配列を含み；

(b) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号32で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号45で示されるアミノ酸配列を含み；

(c) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号33で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号46で示されるアミノ酸配列を含み；

(d) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号34で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号47で示されるアミノ酸配列を含み；

(e) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号35で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号48で示されるアミノ酸配列を含み；

(f) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号36で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号49で示されるアミノ酸配列を含み；

(g) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号37で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号50で示されるアミノ酸配列を含み；

(h) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号38で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号51で示されるアミノ酸配列を含み；

(i) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号39で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号52で示されるアミノ酸配列を含み；

(j) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号40で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号53で示されるアミノ酸配列を含み；

(k) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号41で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号54で示されるアミノ酸配列を含み；

(l) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号42で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号55で示されるアミノ酸配列を含み；

(m) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号43で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号56で示されるアミノ酸配列を含み；

又は、

(n) それぞれの軽鎖可変領域は配列番号44で示されるアミノ酸配列を含み、かつそれぞれの重鎖可変領域は配列番号57で示されるアミノ酸配列を含む；

ヒト化モノクローナル抗体又はその抗原結合部分。

【請求項2】

請求項1に記載のヒト化モノクローナル抗体又はその抗原結合部分、及び薬理的に許容できるキャリア、希釈剤又は賦形剤を含んでなる医薬品組成物。

【請求項3】

ヒトにおける肥満、非インシュリン依存性糖尿病、プラダー・ウィリー症候群、過食症、障害性の満腹、又はガンからなる群から選ばれる疾病又は障害の治療に用いる、請求項2に記載の医薬品組成物。

【請求項4】

ヒトの肥満、非インシュリン依存性糖尿病、プラダー・ウィリー症候群、過食症、障害性満腹、又はガンからなる群から選ばれる疾病又は障害の治療のための、請求項1に記載

のヒト化モノクローナル抗体又はその抗原結合部分の使用。